

## 開催日時決定で大失態

今年の開催日を九月二十三日（土）秋分の日に開催する事をまちづくり協議会で決定（その時点でその日が豊地小学校の運動会）と言う事に誰も気づかず数日経ってようやく気づくも時すでに遅し、多くの関係者の皆様方に大変なご迷惑をお掛けいたしました事、重ねてお詫び申し上げます。前日までの雨も上がり当日は好天に恵まれ敬老会日和となりました。多くの参加者がバスで送迎、今年は百八十名の参加と例年より若干少ない状態でした。

## 演芸会では懐かしのメロディに共感

開会式では、辻岡会長が開会の挨拶クイズ形式の挨拶に会場は呆然、意味不明で十分理解された方が少なかったように思いました。来賓は竹上松阪市長、竹内局長、本田振興課長、中村教育所長、杉本社協所長、野口県議、中瀬古県議が花を添えていただきました。市内でも百名を超える百歳以上の方が見え九割は女性が占めるそうです。演芸会では、矢下の「すずかぜの会」山本千鶴子リーダーをはじめ九名のグループが大正琴の演奏で「故郷・紅葉・北上夜曲・見上げてごらん夜の星を・きよしのズンドコ節」を爽やかな音色で奏でて情緒たっぷりの演奏は見事でした。オカリナ演奏では、十曲余りを手拍子を交えて会場と一体となった演奏に楽器と曲がマッチし素晴らしいハーモニーに会場からは拍手喝采大いに盛り上げていただきました。昼食タイムには、パック料理とご飯に手作りの味噌汁が振る舞われ体育館で全員が満腹感を味わうことが出来ました。午後からは、カラオケ・小島美香オンステージで聴衆を魅了していただきました。十二名のカラオケ出演者以外にも立っての希望で北浦登氏も特別出演、皆様方の日頃の練習の成果と衣装には感服しました。

小島美香ショーでは、プロの歌手ならではの声量とテクニックに会場からは驚嘆の声が聞こえました。

## 開催時期と今後の行事の在り方

敬老の日を起点に日時を決定するのが一番ベストとは思いますが、今までは平日開催を実施しておりましたが今年は土曜日と変更、スタッフ等の事を考えればそれが一番かも知れませんが、出演していただく方の事を考慮すると平日のが良いとの意見もありますが、いずれにしても当面は、この事業については継続していくのが地域の福祉とも相まって共感が得られると思われまます。

多くの行事につきましても、いずれは開催が困難な状況になってくるものと思われまます。まちづくりの総意として出来るだけ長く継続して行って欲しいと願っております。多くの皆様方のご協力があって実現出来るものです。今後ともまちづくり協議会に絶大なるご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

# 《なかざと敬老会の模様》



「竹上市長のご挨拶」



「すずかぜの会による大正琴の演奏」



昼食をとりながら、素敵な演奏、歌、踊りを楽しんで頂きました。

「オカリナグループによる演奏」



「小島美香&よさこい（大和心香）さんの歌と踊りのステージ」